

阪神高速道路株式会社 技術審議会

技 術 審 議 会 資 料

No.5

日付 平成27年8月11日

交通技術委員会活動状況

平成27年8月11日

阪 神 高 速 道 路 株 式 会 社

交通技術委員会

活動状況

平成27年 8月 11日

阪神高速道路(株)
保全交通部システム技術課

交通技術委員会

◆直近の交通技術委員会

交通技術委員会 第5回委員会

日時:平成27年6月22日(月)15:00~17:00

場所:阪神高速道路(株)建設事業本部4F会議室

【報告事項】

(1) 阪神高速道路の交通状況について

- ・交通量及び交通渋滞発生状況
- ・阪神高速道路の交通管理状況

【審議事項】

(2) 道路交通に係る制御及び運用等の検討

- ・深江サグ部における速度回復誘導灯の効果検証について
- ・事故リスク情報を活用した交通マネジメントの検討

(3) 道路交通情報の収集、処理及び提供等の検討

- ・情報提供の優先度に関する検討
- ・情報提供アクションプランについて

◆ 道路交通に係る制御及び運用等の検討

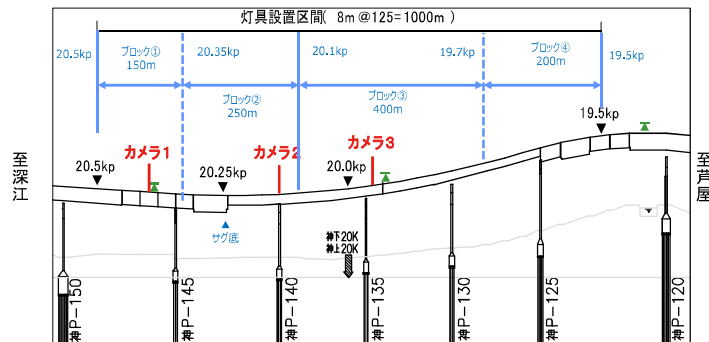
① 深江サグ部における速度回復誘導灯の効果検証について

背景と目的

- ✓ サグ部における速度低下に起因した渋滞対策として、車両の走行速度に応じて点灯パターンや点灯速度を制御する速度回復誘導灯を3号神戸線上り深江サグ部(芦屋～深江)に設置
- ✓ サグ部付近における速度低下を抑制するとともに、車間距離の適正化を期待

審議事項

- ✓ 速度回復誘導灯の設置間隔及び機器の仕様
 - ✓ 効果検証計画
- (今後の予定)
- ✓ 検証結果を踏まえた効果的な運用方法の検討



速度回復誘導灯の設置位置



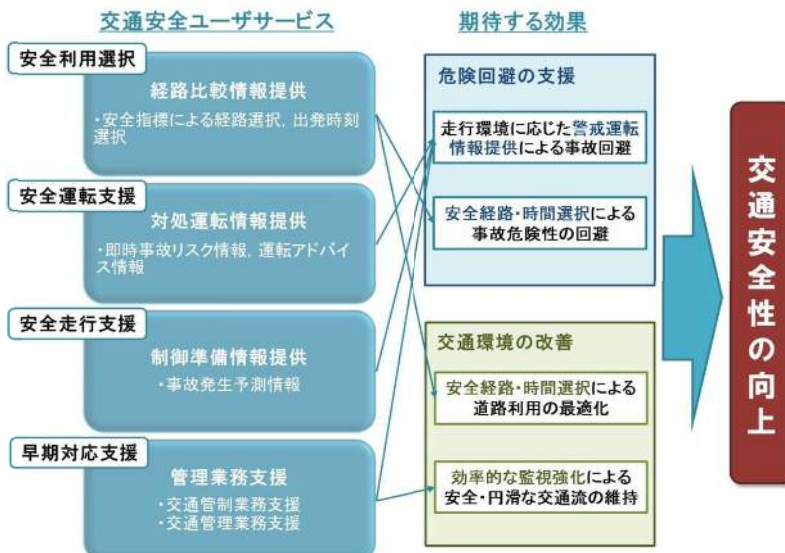
速度回復誘導灯の設置状況

◆ 道路交通に係る制御及び運用等の検討

② 事故リスク情報を活用した交通マネジメントの検討

背景と目的

- ✓ 事故リスク情報の提供による個別車両の「危機回避の支援」
- ✓ 事故リスク情報を活用した管理業務支援による道路ネットワーク全体の「交通環境の改善」
- ✓ 事故リスク情報の多角的な活用による阪神高速道路の交通安全性の向上



◆ 道路交通情報の収集、処理及び提供等の検討

① 情報提供の優先度に関する検討

背景と目的

- ✓ **情報提供方針と整合のとれた情報提供の実現** (→ 障害係数の見直し)

【情報提供方針】

- ・ 切迫する危険回避のために必要な情報は、それを必要とするドライバーに確実に伝える。
- ・ 個々のお客さまが、経路選択・行動変更するために必要な情報を提供する。

→ 「直近区間の注意事象」を優先して情報提供する必要

- ✓ **阪神高速の利用実態に即した優先度の設定** (→ 影響係数の見直し)

H26年度 & H27年度第1回委員会では、

- ・ 「**障害係数**」(事象の重要度を規定)の**更新に関する検討結果を報告**。情報提供方針を反映させるべく注意事象の障害係数を大きくした場合、注意事象やその他の事象の情報提供時間が如何に変化するか、感度分析を行った。

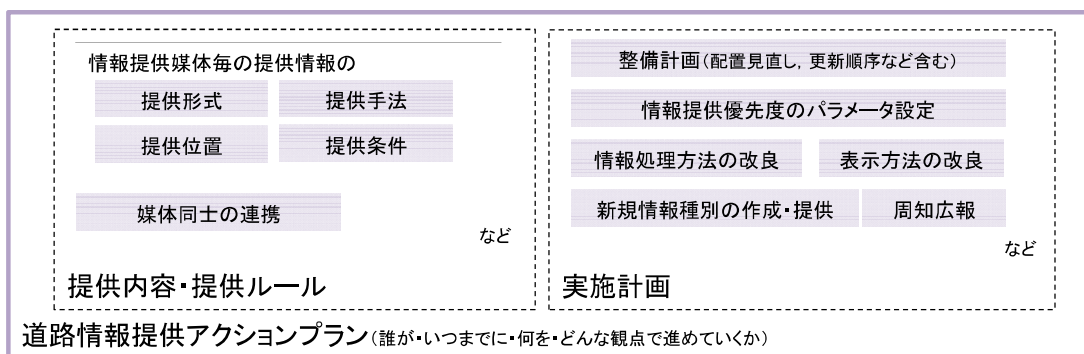
- ・ 感度分析により、注意事象の障害係数を調整することで**注意事象の非提供時間が半減**できるようになった一方、その反動として非提供時間が増加する対象は降雨等の気象情報が主であり、**重篤な渋滞事象の情報提供に与える影響は大きくない**ことを確認した。

◆ 道路交通情報の収集、処理及び提供等の検討

② 情報提供アクションプランについて

背景と目的

- ✓ 情報提供方針に即した媒体毎の提供内容・提供ルールを検討
切迫する危機回避のために必要な情報は、それを必要とするドライバーに確実に伝える。
経路選択・行動変更するために必要な情報を提供する。
- ✓ 個々のお客さまニーズの継続的把握や情報提供媒体の利用状況をモニタリング、必要に応じて情報提供の改善・見直しを実施



◆ 道路交通情報の収集、処理及び提供等の検討
【参考】

